# 中附中1年生理工学部訪問

中央大学: 髙木悠人



## 議題

- ・自己紹介
- ・学科の紹介
- ・理系の魅力
- ・研究の楽しさ・魅力



## 自己紹介



名前: **髙木悠人(たかぎ ゆうと)** 

学科: 理工学部ビジネスデータサイエンス学科

分野: AI, データサイエンス(大規模なデータの解析等), 統計学

なぜ理系に進んだ??

- **AIの仕組み**に興味があったから
- 横文字がカッコよかったから
- 専門的な強みをつけたかったから

ビジネスデータサイエンス学科の魅力は??

- 世界の最先端(AI, データサイエンス)を知れること



基幹 理工学部

社会 理工学部

先進 理工学部 数学科

物理学科

応用化学科

生命科学科

都市環境学科

ビジネスデータサイエンス学科

人間総合理工学科

精密機械工学科

電気電子情報通信工学科

情報工学科

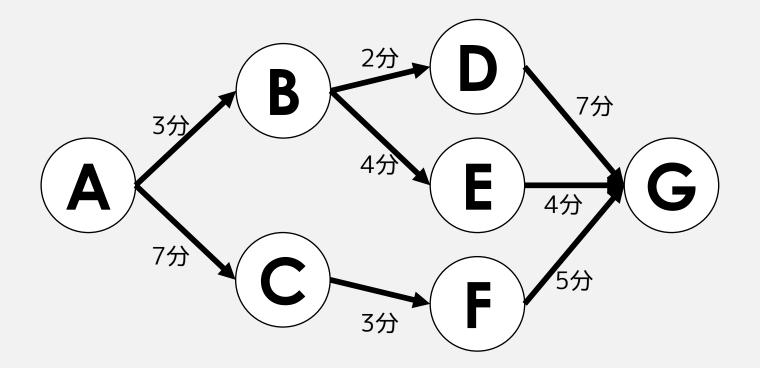


理工学部

(~26年)

どんなことやってるの??

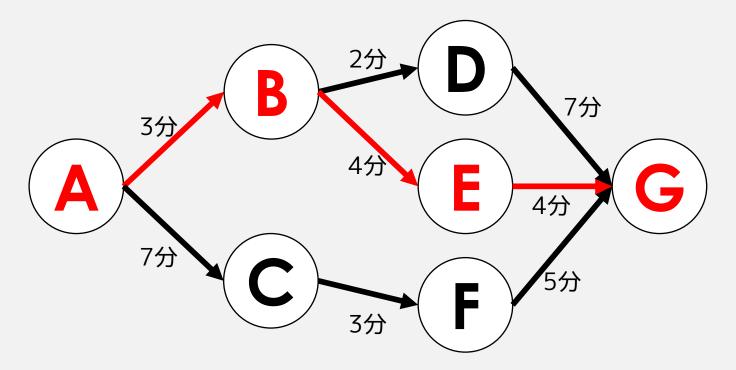
## Q. AからGまで最短時間で行くときのルートは??





どんなことやってるの??

## Q. AからGまで最短時間で行くときのルートは??

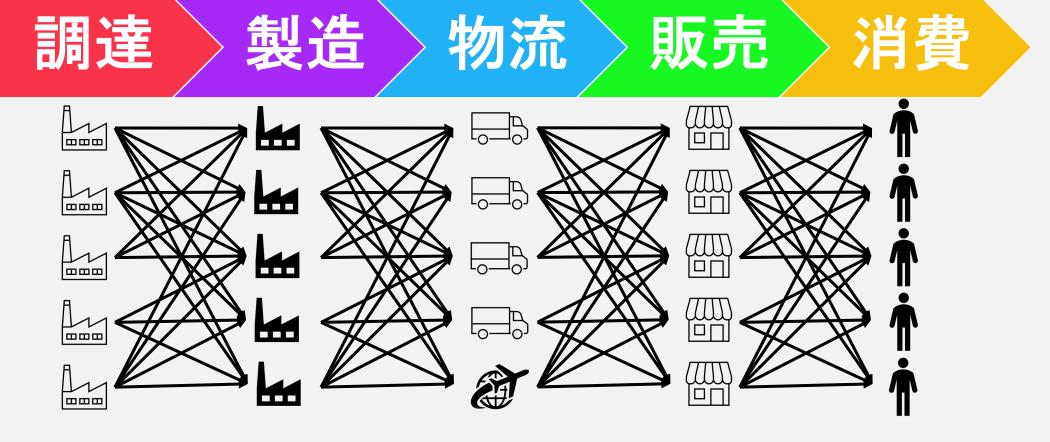






大学では、複雑なバージョンを解いている。

例. 材料調達から消費までの輸送最安ルートの検討





大学では、複雑なバージョンを解いている。

```
SCMを線形計画問題(最小費用フロー)として解くサンブル
レイヤ: Suppliers -> Plants -> DCs -> Stores -> Customers
変数: 各レイヤ間のフロー量
 目的:総輸送費(+任意で製造・保管コスト)最小化
 制約: 供給上限、節点フロー保存、各施設容量、需要充足
 Suppliers = ["S1", "S2", "S3"]
 Plants = ["P1", "P2"]
Stores = ["R1", "R2", "R3"] # Retail
 # 供給量(サプライヤの出荷上限)
   "S1": 80,
    "S3": 50,
 # 需要量(顧客の需要)
   "C1": 40,
 # 各施設の処理容量(通過量の上限)
plant_capacity = {"P1": 120, "P2": 100}
store_capacity = {"R1": 80, "R2": 90, "R3": 80}
 # ない経路は辞書に載せない=禁止アーク
    ("S2", "P1"): 4, ("S2", "P2"): 3,
```

```
("P1","D1"): 3, ("P1","D2"): 4,
     ("P2","D1"): 2, ("P2","D2"): 5,
     ("D1","R1"): 2, ("D1","R2"): 6, ("D1","R3"): 4,
     ("D2","R1"): 3, ("D2","R2"): 2, ("D2","R3"): 5,
     ("R2","C1"): 4, ("R2","C2"): 3, ("R2","C3"): 2, ("R2","C4"): 5,
     ("R3","C1"): 5, ("R3","C2"): 4, ("R3","C3"): 3, ("R3","C4"): 2,
 # 2) モデル定義
 model = pl.LpProblem("SCM_MinCostFlow", pl.LpStatusOptimal)
 # 変数:各レイヤ間のフロー(非負連続)
 x_SP = pl.LpVariable.dicts("x_SP", cost_SP.keys(), lowBound=0, cat="Continuous")
 x_PD = pl.LpVariable.dicts("x_PD", cost_PD.keys(), lowBound=0, cat="Continuous")
 x_DR = pl.LpVariable.dicts("x_DR", cost_DR.keys(), lowBound=0, cat="Continuous")
 x_RC = pl.LpVariable.dicts("x_RC", cost_RC.keys(), lowBound=0, cat="Continuous")
 # 月的関数・総コスト最小化
     pl.lpSum(cost_SP[a]*x_SP[a] for a in cost_SP) +
    pl.lpSum(cost_PD[a]*x_PD[a] for a in cost_PD) +
    pl.lpSum(cost_DR[a]*x_DR[a] for a in cost_DR) +
    pl.lpSum(cost_RC[a]*x_RC[a] for a in cost_RC)
 ). "TotalCost"
 # 3) 制約
 # (A) 供給上限:各サプライヤの出荷 ≤ 供給量
     outflow = pl.lpSum(x_SP[(s,p)]) for p in Plants if (s,p) in x_SP)
     model += outflow <= supply.get(s, 0), f"SupplierCap_{s}"</pre>
```

```
• • •
  # (B) フロー保存:各Plantで入出一致、かつ容量上限
    inflow = pl.lpSum(x_SP[(s,p)]) for s in Suppliers if (s,p) in x_SP
     outflow = pl.lpSum(x_PD[(p,d)]) for d in DCs if (p,d) in x_PD
     model += outflow <= plant_capacity.get(p, 0), f"PlantCap_{p}"</pre>
  # (C) フロー保存:各DCで入出一致、かつ容量上限
     model += inflow == outflow, f"FlowBalance_D_{d}"
  # (D) フロー保存:各店舗で入出一致、かつ店舗容量
  # (E) 需要充足:各顧客には需要量ちょうどを配達
     model += inflow == demand.get(c, 0), f"Demand_{c}"
   (任意)総供給量 ≥ 総需要量の可行性チェック(不足時は不可解)
  total_supply = sum(supply.values())
  total demand = sum(demand.values())
 assert total_supply >= total_demand, "総供給量が総需要量を下回っています。データを見直してください。"
 status = model.solve(pl.PULP CBC CMD(msq=False))
 print("Status:", pl.LpStatus[status])
 print("Optimal Cost:", pl.value(model.objective))
 def print_positive(flows, title):
    print(f"\n[{title}]")
     for k, var in flows.items():
            print(f"{k}: {var.varValue:.2f}")
 print_positive(x_SP, "Supplier -> Plant")
 print_positive(x_PD, "Plant -> DC")
  print_positive(x_RC, "Store -> Customer")
```



#### Q. みなさん、どのAI使ってますか??

- 1. ChatGPT
- 2. Gemini
- 3. Claude
- 4. 他のツール



#### 僕は、ChatGPTとClaude使ってます!





Q. AIがどうやって動いてるかわかりますか??

「AIが文章の意味を理解する」ってどういう仕組み?





実は、AIは文章を理解しているのではなく、<mark>確率計算</mark>を無限にやっている!!





魅力1. 将来活かせる専門性が身に付く

魅力2. 問題解決をする上での論理的思考力・ツールを身につけられる





魅力1. 将来活かせる専門性が身に付く

大学(学科)で勉強すること

活かせる職業

**OR** 輸送ルートの最適化など SAPコンサルティング, Alコンサルティング

プログラミング 主に、AL機械学習系 AIエンジニア, MLエンジニア, AIコンサルティング

**※アントレプレナーシップ** ビジネスアイデアを形にする授業

起業、アドバイザリー



魅力2. 問題解決をする上での論理的思考力・ツールを身につけられる

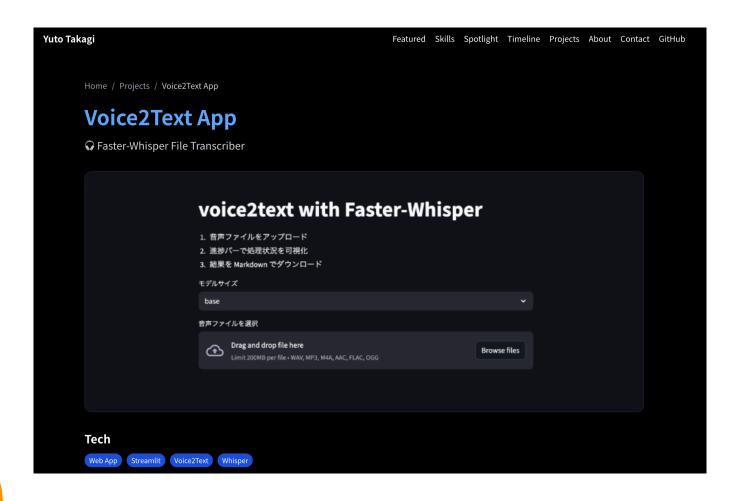
例) 冷蔵庫の中の写真を撮って、作れるメニュー提案してくれるアプリ





魅力2. 問題解決をする上での論理的思考力・ツールを身につけられる

例) 会話文字起こしアプリ





魅力2. 問題解決をする上での論理的思考力・ツールを身につけられる

例) オンライン ケース面接プラットフォーム(G-SPARKの一貫で開発中)

#### 事業アイデアの実現を目指す年間プログラム「G-SPARK∮」

2025年04月01日

#グローバルアントレプレナーシップ #アントレプレナーシップ #起業家 #起業家精神 #G-SPARK







## 研究の楽しさ・魅力

研究内容: 静止摩擦力における待機時間依存性・接触面積依存性の研究

簡単に言うと..

高校物理では、「摩擦力はモノの重さに比例する」と言われている

\$

置き続ければ(待機時間)、摩擦大きくなりそう!



面積大きければ(接触面積)、摩擦大きくなりそう!





研究の楽しさ=「ギモンに思ったこと」を解決できること

## ご清聴ありがとうございました

YutoTAKAGI a23.nhm4@g.chuo-u.ac.jp https://portfolio-ruw9.onrender.com/

